

授業概要

科目名	形態	回数	時間	年次	時期	曜日	時間	必修選択	授業担当者
医療的ケアⅠ（喀痰吸引）	講義		32	2				必修	荒井 芳紀 他

[科目のねらい]

医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

[科目の概要]

- ①医療的ケア実施の基礎
- ②喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）

[到達目標]

医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

[使用教科書]	[授業外学習]
最新介護福祉士養成講座「医療的ケア」 (中央法規)	生徒同士で互いに演習手順を確認しあい、手技を正確に実施できるように習熟させる。

授業日程と内容

1 喀痰吸引等制度①	17 消毒と滅菌②
2 喀痰吸引等制度②	18 まとめ
3 医療的ケアと喀痰吸引等の種類	19 身体・精神の健康
4 医行為について	20 健康状態を知る項目（バイタルチェックなど）
5 その他の制度	21 急変状態について
6 まとめ	22 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論①
7 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施①	23 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論②
8 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施②	24 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論③
9 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施③	25 まとめ
10 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施④	26 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説①
11 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施⑤	27 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説②
12 まとめ	28 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説③
13 感染予防	29 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説④
14 介護職の感染予防	30 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説⑤
15 療養環境の清潔、消毒法	31 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説⑥
16 消毒と滅菌①	32 筆記試験

評価 方法	試験	小テスト	レポート	発表	課題	単位認定の方法及び基準
	100%					出席率100%の者で、講義終了後の筆記試験（四肢択一）総正解率90%以上の者を合格とする。

[教員実務経験]

急性期総合病院（循環器・心臓血管外科、精神科救急、HCU・救急、災害医療等）で看護師として長年勤務した経験がある。
看護教員資格を有し、看護学校勤務、大学助手・卒後教育に携わった経験がある。

授業概要

科目名	形態	回数	時間	年次	時期	曜日	時間	必修選択	授業担当者
医療的ケアⅡ（喀痰吸引演習）	演習		15	2				必修	荒井 芳紀 他

[科目のねらい]

医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

[科目の概要]

喀痰吸引演習

[到達目標]

医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

[使用教科書]

最新介護福祉士養成講座「医療的ケア」
(中央法規)

[授業外学習]

生徒同士で互いに演習手順を確認しあい、手技を正確に実施できるように習熟させる。

授業日程と内容

【演習】

- 1 喀痰吸引演習①
- 2 喀痰吸引演習②
- 3 喀痰吸引演習③
- 4 喀痰吸引演習④
- 5 喀痰吸引演習⑤
- 6 喀痰吸引演習⑥
- 7 喀痰吸引演習⑦
- 8 喀痰吸引演習⑧
- 9 喀痰吸引演習⑨
- 10 喀痰吸引演習⑩
- 11 喀痰吸引演習⑪
- 12 喀痰吸引演習⑫
- 13 喀痰吸引演習⑬
- 14 喀痰吸引演習⑭
- 15 喀痰吸引演習⑮

喀痰吸引 口腔 鼻腔 気管カニューレ内部

1人につき各5回以上

	試験	小テスト	レポート	発表	課題	単位認定の方法及び基準
評価方法						医療的ケアⅠ（講義）の筆記試験を合格した者で、全ての演習を実施したうえで、各演習行為が手順通りに評価5回目までにすべての項目ができた者を合格とする。

[教員実務経験]

急性期総合病院（循環器・心臓血管外科、精神科救急、HCU・救急、災害医療等）で看護師として長年勤務した経験がある。看護教員資格を有し、看護学校勤務、大学助手・卒後教育に携わった経験がある。

授業概要

科目名	形態	回数	時間	年次	時期	曜日	時間	必修選択	授業担当者
医療的ケアⅢ（経管栄養）	講義		18	2				必修	荒井 芳紀 他

[科目のねらい]

医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

[科目の概要]

- ①医療的ケア実施の基礎
- ②経管栄養（基礎的知識・実施手順）

[到達目標]

医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

[使用教科書]

最新介護福祉士養成講座「医療的ケア」
(中央法規)

[授業外学習]

生徒同士で互いに演習手順を確認しあい、手技を正確に実施できるように習熟させる。

授業日程と内容

1 高齢者および障害児・者の経管栄養概論①	16 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑨
2 高齢者および障害児・者の経管栄養概論②	17 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑩
3 高齢者および障害児・者の経管栄養概論③	18 筆記試験
4 高齢者および障害児・者の経管栄養概論④	
5 高齢者および障害児・者の経管栄養概論⑤	
6 まとめ	
7 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説①	
8 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説②	
9 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説③	
10 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説④	
11 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑤	
12 まとめ	
13 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑥	
14 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑦	
15 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説⑧	

評価 方法	試験	小テスト	レポート	発表	課題	単位認定の方法及び基準
	100%					
						出席率100%の者で、講義終了後の筆記試験（四肢択一）総正解率90%以上の者を合格とする。

[教員実務経験]

急性期総合病院（循環器・心臓血管外科、精神科救急、HCU・救急、災害医療等）で看護師として長年勤務した経験がある。
看護教員資格を有し、看護学校勤務、大学助手・卒後教育に携わった経験がある。

授業概要

科目名	形態	回数	時間	年次	時期	曜日	時間	必修選択	授業担当者
医療的ケアIV（経管栄養演習）	演習	/	15	2	/	/	/	必修	荒井 芳紀 他

[科目のねらい]

医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

[科目の概要]

経管栄養演習

[到達目標]

医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。

[使用教科書]

最新介護福祉士養成講座「医療的ケア」
(中央法規)

[授業外学習]

生徒同士で互いに演習手順を確認しあい、手技を正確に実施できるように習熟させる。

授業日程と内容

【演習】

- | | |
|------------|-------------------------|
| 1 経管栄養演習① | 上級救命講習 |
| 2 経管栄養演習② | 講義終了後、筆記試験と実技試験合格点を満たす。 |
| 3 経管栄養演習③ | 後日、上級救命講習修了書を発行 |
| 4 経管栄養演習④ | (救命蘇生法) |
| 5 経管栄養演習⑤ | 経管栄養 胃ろう又は腸ろう 経鼻経管栄養 |
| 6 経管栄養演習⑥ | 1人につき各5回以上 |
| 7 経管栄養演習⑦ | |
| 8 経管栄養演習⑧ | |
| 9 経管栄養演習⑨ | |
| 10 経管栄養演習⑩ | |
| 11 経管栄養演習⑪ | |
| 12 経管栄養演習⑫ | |
| 13 経管栄養演習⑬ | |
| 14 経管栄養演習⑭ | |
| 15 経管栄養演習⑮ | |

評価方法	試験	小テスト	レポート	発表	課題	単位認定の方法及び基準
	/	/	/	/	/	医療的ケアIII（講義）の筆記試験を合格した者で、全ての演習を実施したうえで、各演習行為が手順通りに評価5回目までにすべての項目ができた者を合格とする。

[教員実務経験]

急性期総合病院（循環器・心臓血管外科、精神科救急、HCU・救急、災害医療等）で看護師として長年勤務した経験がある。看護教員資格を有し、看護学校勤務、大学助手・卒後教育に携わった経験がある。